I·O DATA

オートバックアップ

E-SAVP2005

Easy Saver Pro 2005

イージーセーバープロ2005

取扱説明書

インストール編

■■■ 管理者用 ■■■



本書『インストール編（管理者用）』は、ネットワーク管理者が大切に保管してください。

M-MANU200362-02

もくじ

EasySaver Pro 2005 とは？……1
必ずお守りください……3

お使いになる前に……5
EasySaver Pro 2005 の動作環境……5
箱の中には……6

インストールと設定……7
インストールする……8
共通設定ファイル用フォルダの準備……8
EasySaver Pro 2005 をインストールする……9
設定する……15
マスターパスワードの設定をする……15
サービスモードで共通動作オプションを設定する……18

ふろく……23
EasySaver Pro 2005 の削除……24
お問い合わせ……25

取扱説明書の構成

本ソフトウェアに添付の取扱説明書は【インストール編】と【操作編】に分かれています。

インストール編	本ソフトウェアのインストール方法および各クライアントPCの共通動作オプションの設定を説明しています。 **ネットワーク管理者の方がお読みください。**
操作編	本ソフトウェアの使い方を説明しています。 また、トラブルが発生したときの対処方法も記載しています。

EasySaver Pro 2005 とは？

EasySaver Pro 2005（イージーセーバープロニセンゴ）は、ネットワーク環境のデータを手軽にバックアップできるユーティリティソフトです。
簡単な操作でファイルやフォルダを登録し、自動またはマニュアルでハードディスクや MO、DVD-RAM などに大切なデータをバックアップできます。
万一のデータの破損や誤消去に備えることができます。

※ネットワーク管理者は 10 台のパソコンに自動バックアップを設定することができます。
※バックアップ、リストアは同じパソコン環境・OS 環境でのみ可能です。
※MO、DVD-RAM などにバックアップする場合は、あらかじめご利用になる OS でアクセスできるフォーマット形式で初期化しておいてください。
※ドライブの起動管理領域（MBR）のバックアップには対応しておりません。本ソフトウェアを用いてのシステムバックアップ・リストアは行えません。

主な機能には以下のものがあります。

【フルバックアップ】

バックアップ対象のファイルやフォルダを、常にすべてバックアップします。
万一、バックアップしたデータの一部が破損した場合でも、被害を最小限に抑える事ができますが、より多くのディスクスペースを必要とします。

【差分バックアップ】

バックアップ対象のファイルやフォルダのうち、前回のバックアップ以降に変更されたファイルのみをバックアップします。
変更されたもののみバックアップしますので、フルバックアップに比べて高速にバックアップできるほか、ディスクスペースも節約できます。

【スケジュール機能】

あらかじめ登録されたバックアップ対象を、指定された日時／間隔等のスケジュールに従って、自動的にバックアップを実施します。
いったんスケジュールを登録すれば、それ以降はバックアップの実施を意識する必要がありませんので、確実にバックアップを実施できます。

【自動バックアップ】

バックアップ対象フォルダ／ファイルが変更された場合に、自動的にバックアップを実施します。

【バックアップデータの圧縮保存】

バックアップデータを圧縮して保存します。バックアップデータのサイズを縮小し、ディスクスペースを有効に活用できます。

【バックアップデータの分割保存】

バックアップデータが一つのディスクに収まらない場合でも、複数のディスクに分割してバックアップできます。

【バックアップ履歴管理機能】

バックアップデータは、バックアップを実施した日時と共に管理されますので、リストア時には過去にバックアップを実施した日時の中からお好きな日時を選択して、その時の状態に復元できます。

【バックアップデータブラウジング】

バックアップしたデータの内容をエクスプローラのような画面で参照することができ、ファイル/フォルダ単位で個別にリストアできます。

【同時バックアップ数制限】

ネットワーク上で同時に実行可能なバックアップジョブの数を任意の数に制限することができます。制限することによりネットワークへの負荷を軽減します。

※ネットワーク管理者のみ設定可能。

【空き容量の調査】

ネットワークドライブへのバックアップ時に、同じ場所にバックアップ中の EasySaver Pro 2005 と通信して、使用可能な容量を正しく把握することができます。

【バックアップデータ転送速度制限】

ネットワークドライブへのバックアップ時に、データの転送速度を制限することができます。データの転送速度を制限することによりネットワークへの負荷を軽減する事ができます。*※ネットワーク管理者のみ設定可能。*

【バックアップ先ドライブの固定】

バックアップ先ドライブを任意のドライブ番号に固定する事ができます。

※ネットワーク管理者のみ設定可能。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

警告および注意

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本ソフトウェアを使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

⚠ 注意


注意

本ソフトウェアを使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。


禁止

本ソフトウェアは以下のような場所で保管・使用しないでください。

破損の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（CI_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所


禁止

以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本ソフトウェアの上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本ソフトウェアのそばで飲食・喫煙などをしない


注意

本ソフトウェアは、日本国内仕様です。

本ソフトウェアを日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本ソフトウェアに関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

お使いになる前に

EasySaver Pro 2005 の動作環境

EasySaver Pro 2005 は以下の環境でお使いになれます。

対応機種	対応 OS
DOS/V マシン (OADG 加盟メーカー)	Windows Vista™(32bit のみ対応)/Windows XP(32bit のみ対応)/ Windows 2000 Professional/Windows Me/Windows 98(SE 含む)※

※Internet Explorer 5 以上が必要です。

■CPU……Pentium Ⅲ 450MHz 以上推奨

■メモリー ……128MB 以上推奨

■インストールに必要な空き容量 10MB 以上

※別途バックアップ用の空き容量が必要です。

■対応メディア:バックアップ元

ハードディスク、MO、DVD-RAM 等ファイルシステムで読み取り可能なメディア全般、マイコンピュータ(またはコンピュータ)上に割り当てられたネットワークドライブ

■対応メディア:バックアップ先

ハードディスク、MO、DVD-RAM、パケットライトフォーマットされた CD-R/RW や DVD±R/RW 等ファイルシステムで読み書き可能なメディア全般、マイコンピュータ(またはコンピュータ)上に割り当てられたネットワークドライブ

※ネットワークドライブの共有フォルダは、 バックアップを実行するユーザー毎に分けて設定してください。

※FDD、USB メモリー、フラッシュメモリーカード除く

■インストール可能台数(ライセンス数)……10 台

※ライセンス契約に同意の場合のみご使用いただけます。

省電力モードは使用できません

EasySaver Pro 2005でバックアップおよびリストア中は、スタンバイ/休止/スリープなどの省電力モードにすることはできません。

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

☐にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

☐ EasySaver Pro 2005(1枚)[CD-ROM]



☑ EasySaver Pro 2005 取扱説明書【インストール編】(本書/1冊)

☐ EasySaver Pro 2005 取扱説明書【操作編】(1冊)

☐ Ver シール(5 枚)

- [シリアル No.シール:1 シート]
- [プロダクトキーシール:4 シート(10 台分)]

▼ここにシリアル番号(S/N)シールを貼ってください。

シリアル番号(S/N)はユーザー登録や EasySaver Pro 2005 のアップデータ等のダウンロードの際に必要です。

・ユーザー登録　⇒http://www.iodata.jp/regist/

・ダウンロード　⇒http://www.iodata.jp/lib/

プロダクトキーは EasySaver Pro 2005 をインストールする際に必要です。プロダクトキーシールは、インストールしたパソコン等に貼付してください。

※プロダクトキーシールはパソコン 10 台分(10 枚)添付されております。

添付品は大切に保管してください

・EasySaver Pro 2005 CD-ROMを紛失した場合の対応はいたしかねます。あらかじめご了承ください。

・EasySaver Pro 2005 CD-ROMおよび本書はネットワーク管理者が大切に保管してください。

・プロダクトキーシールはインストールの際に必要です。再発行いたしかねますので、紛失しないよう大切に保管してください。

インストールと設定

インストールする……8
共通設定ファイル用フォルダの準備……8
EasySaver Pro 2005 をインストールする……9
設定する……15
マスターパスワードの設定をする……15
サービスモードで共通動作オプションを設定する……18

インストールする

EasySaver Pro 2005 をパソコンにインストールします。

ご注意

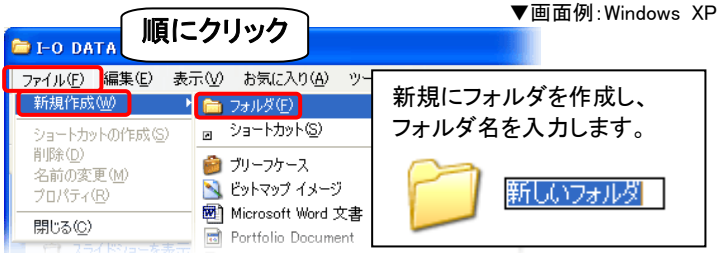
・Windows Vista™/XP/2000 では、コンピュータの管理者のアカウント（Administrator 権限）でログオンしてください。
・他の弊社製 EasySaver（EasySaver や EasySaver LE 等）をすでにインストールされている場合は、必ずアンインストールしてから、本ソフトウェアをインストールしてください。
※EasySaver LE またはバージョン 2.10 未満の EasySaver で作成したジョブでは、「世代管理機能」を使用することはできません。

共通設定ファイル用フォルダの準備

EasySaver Pro 2005 では、各クライアント PC で共通の設定を保存する「共通設定ファイル」がネットワーク上に配置されます。インストールの前に、この共通設定ファイルが保存されるフォルダを準備します。
共通設定ファイルは、ネットワーク上の共有フォルダに配置します。

1 マイコンピュータ（またはコンピュータ）等を開き、ネットワークに接続されたパソコン（通常はEasySaver Pro 2005のバックアップ先となる共有フォルダを提供するパソコン、またはNAS等）の共有フォルダに、適当なフォルダを作成します。

▼画面例：Windows XP



ご注意

フォルダ名は任意です。
このフォルダは、各クライアントPCから読み取りアクセスが許可されている必要があります。ただし、セキュリティのため、ネットワーク管理者以外は書き込みアクセスできないよう設定されることをお勧めします。

以上で、インストールする前の準備は完了です。
次ページへお進みください。

EasySaver Pro 2005 をインストールする

EasySaver Pro 2005 のインストールは、各クライアント PC 毎におこないます。

1 「EasySaver Pro 2005」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

⇒自動的にCDメニューが表示されます。



参考①

自動的に CD メニューが表示されない場合は・・・

「EasySaver Pro 2005」CD-ROM の中にある[AUTORUN]アイコンをダブルクリックしてください。



参考②

Windows Vista でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は・・・

[続行]をクリックしてください。





参考③

「初期設定ディスク」を作成してある場合は・・・

「初期設定ディスク」を挿入しておいてください。

(「初期設定ディスク」については13ページ[*参考*]参照)

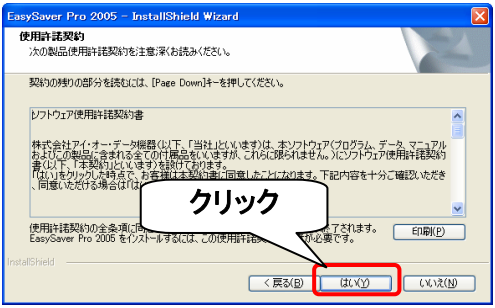
2 [インストール]ボタンをクリックします。



3 [次へ]ボタンをクリックします。



4 同意する場合は、[はい]ボタンをクリックします。



使用許諾契約について

使用許諾契約です。
本ソフトをインストールするには同意が必要です。

5 添付のプロダクトキーシールに印字されているプロダクトキーを入力して、[次へ]ボタンをクリックします。



6 [次へ]ボタンをクリックします。

（インストール先を変更する場合は[参照]ボタンをクリックし、選択します。）

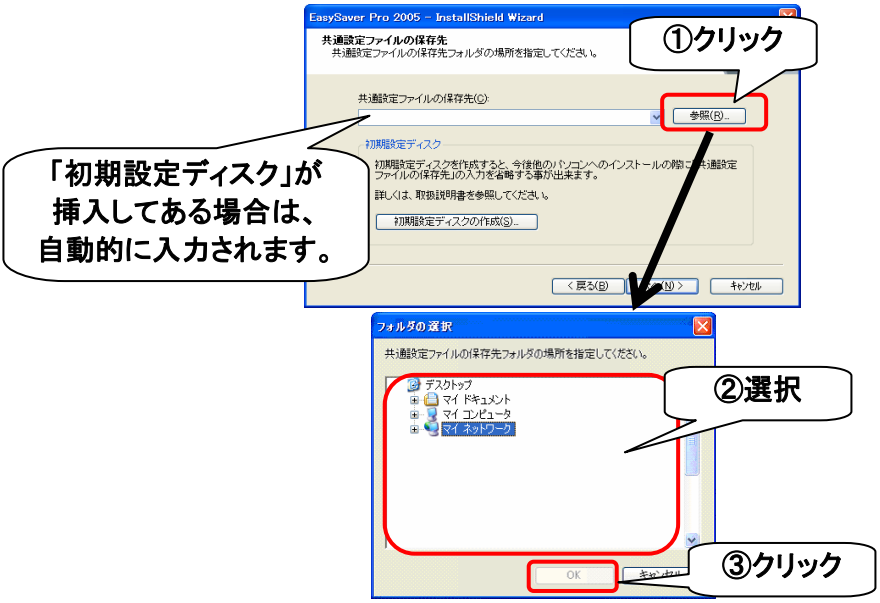


7 **「初期設定ディスク」を挿入してある場合**は、「共通設定ファイルの保存先」が自動的に入力されます。

⇒手順8 へお進みください。

「初期設定ディスク」を挿入していない（作成していない）場合は、［参照］ボタンをクリックし、共通設定ファイルの保存先フォルダを「マイ ネットワーク」または「ネットワークコンピュータ」から選択し、［OK］ボタンをクリックします。

⇒手順8 へお進みください。



参考

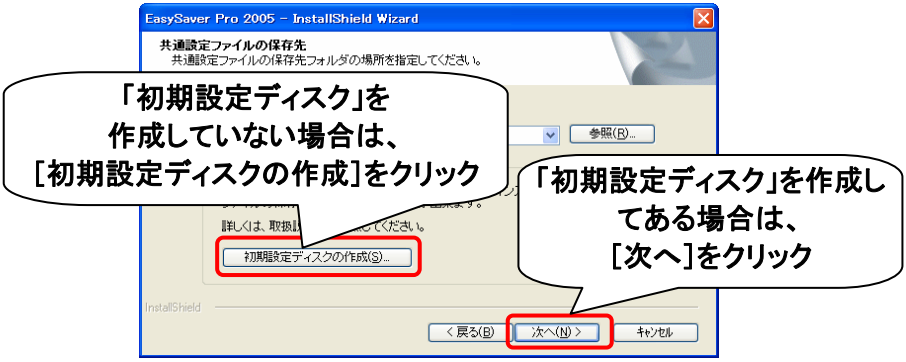
「共通設定ファイルの保存先フォルダ」には8ページ［共通設定ファイル用フォルダの準備］で作成したフォルダを選択します。

「共通設定ファイルの保存先」は「マイ ネットワーク」または「ネットワークコンピュータ」から選択してください。直接入力する場合には、UNC 名で入力してください。

例） ¥¥HDLM¥disk¥ESavCommon

8 **「初期設定ディスク」を作成してある場合**は、[次へ]ボタンをクリックし、インストールを開始します。

「初期設定ディスク」を作成していない場合は、[初期設定ディスクの作成]ボタンをクリックし、「初期設定ディスク」を作成してから、「次へ」ボタンをクリックし、インストールを開始してください。「初期設定ディスク」の作成手順については、下記[*参考*]をご覧ください。

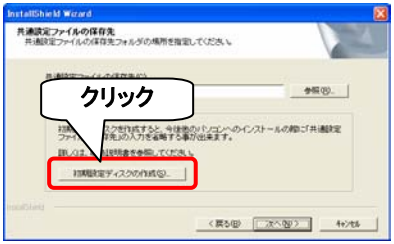


参考

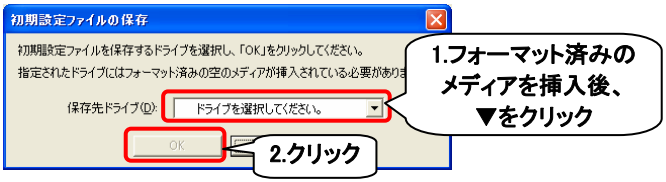
「初期設定ディスクの作成」について

ネットワーク上の共有フォルダにバックアップデータを保存する場合、各クライアントPC毎にEasySaver Pro 2005をインストールする必要があります。
「初期設定ディスク」を作成すると、「共通設定ファイルの保存先」に初期値として設定すべき内容が保存されます。
各クライアントPCでEasySaver Pro 2005をインストールする際に「初期設定ディスク」を挿入しておくと、「共通設定ファイルの保存先」ボックスに保存先フォルダの内容が自動的に入力されるようになり、大変便利です。
「初期設定ディスク」はネットワーク管理者の方が最初に作成されることをお勧めします。「初期設定ディスク」の作成方法は以下のとおりです。

① [初期設定ディスクの作成]ボタンをクリックします。



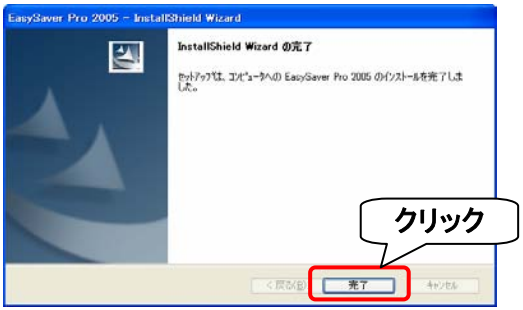
② フォーマット済みの空のメディアを挿入してから、ドライブを選択し、
[OK]ボタンをクリックしてください。
※[保存先ドライブ]はフロッピーディスクやMO、DVD-RAMなど、取り出し可能なメディアが使用できるドライブになります。
（他のクライアントPCでも使用できるドライブを使用してください。）



③ [OK]ボタンをクリックします。
以上で「初期設定ファイル」は保存されました。



9 [完了]ボタンをクリックします。



以上で、EasySaver Pro 2005 のインストールは完了です。
次ページ【設定する】へお進みください。

設定する

マスターパスワードの設定をする

「サービスモード」に入るために必要なマスターパスワードを設定します。「サービスモード」では各クライアント PC の共通の動作オプションを設定することができます。

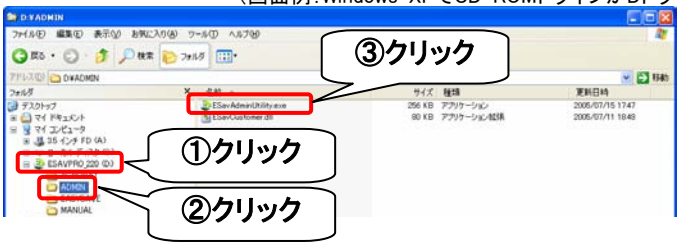
ご注意

・マスターパスワードを設定しないと、「サービスモード」に入ることはできません。
・「サービスモード」はネットワーク管理者専用です。各クライアント PC の共通の動作オプションの設定はネットワーク管理者のみがおこないます。

1 「EasySaver Pro 2005」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。エクスプローラ等を開き、CD-ROM内の「¥ADMIN¥ESavAdminUtility.exe」ファイルをダブルクリックし、「マスターパスワード設定ユーティリティ」を起動します。

（自動でCDメニューが起動した場合は[EXIT]ボタンをクリックし、閉じてください。）

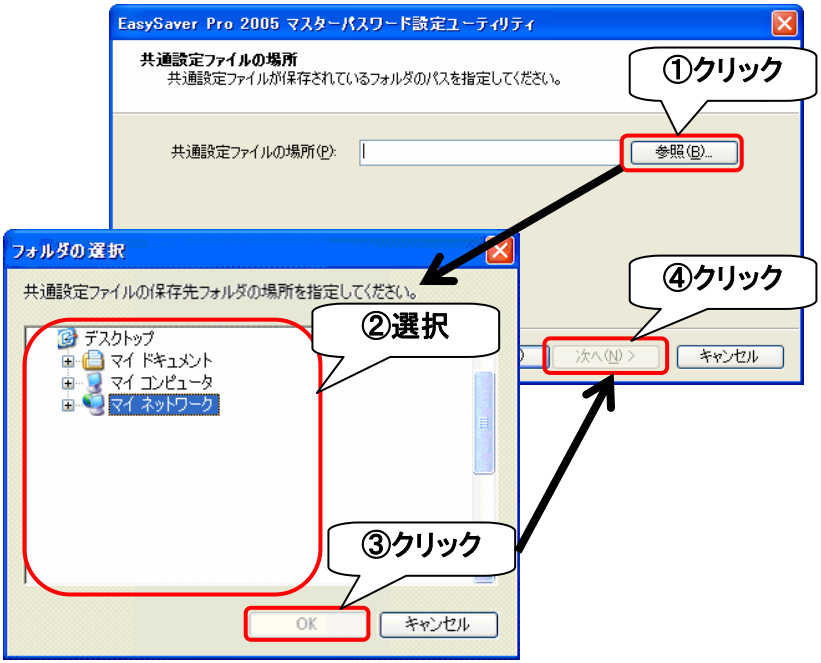
（画面例：Windows XPでCD-ROMドライブがDドライブの場合）



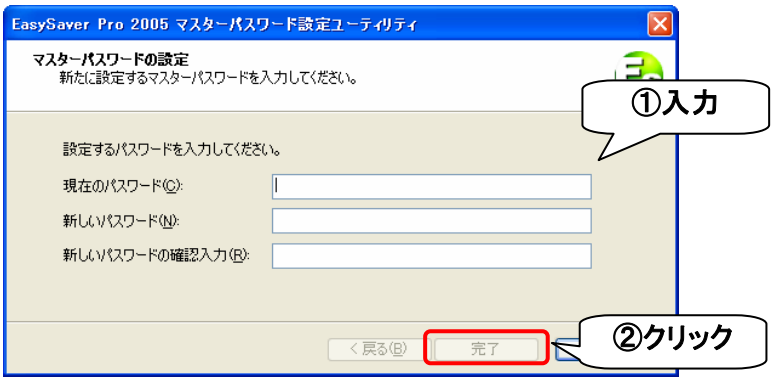
2 ［次へ］ボタンをクリックします。



3 「共通設定ファイルの場所」には8ページ［共通設定ファイル用フォルダの準備］で作成したフォルダを設定します。［参照］ボタンをクリックし、「マイネットワーク」または「ネットワークドライブ」からフォルダを選択し、［OK］→［次へ］ボタンの順にクリックしてください。



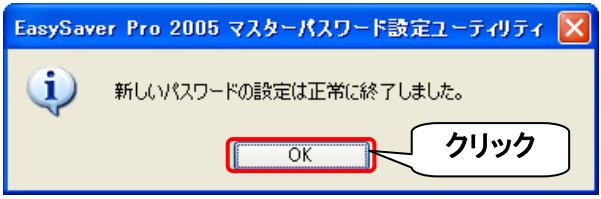
4 [マスターパスワードの設定]画面が表示されます。
[新しいパスワード]と[新しいパスワードの確認入力]欄に同じパスワードを入力後、[完了]をクリックします。
※パスワードは必ずメモしてください。
※初めてマスターパスワードを設定する場合、[現在のパスワード]の入力は不要です。



ご注意

パスワードは「****」と表示され確認できません。**
大文字・小文字の区別もありますので、間違えないようご注意ください。

5 [OK]ボタンをクリックします。



以上で、マスターパスワードの設定は完了です。
次ページ【サービスモードで共通動作オプションを設定する】へお進みください。

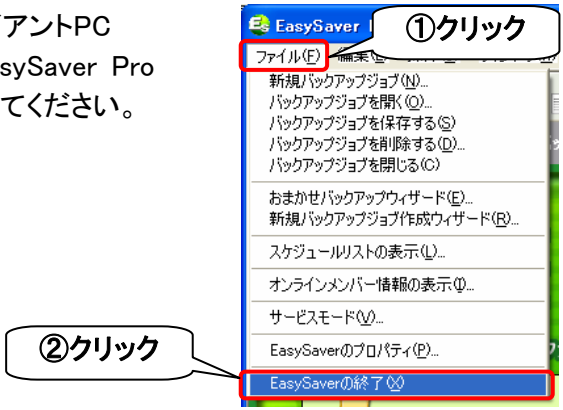
サービスモードで共通動作オプションを設定する

ここでは各クライアント PC で共通に適用される動作オプションを設定します。
設定をおこなうには「サービスモード」に入る必要があります。
また、設定は EasySaver Pro 2005 をインストールしたクライアント PC のいずれか一台でおこないます。

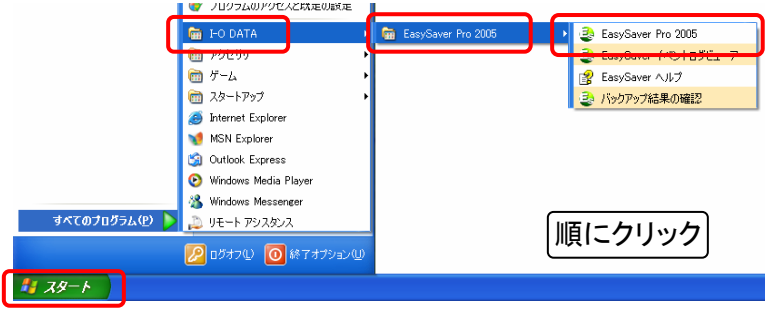
ご注意

各クライアントPCで共通に適用される動作オプションは「サービスモード」でのみ設定できます。また、「サービスモード」に入るには[マスターパスワード]が必要になります。（15ページ[マスターパスワードの設定をする]参照）

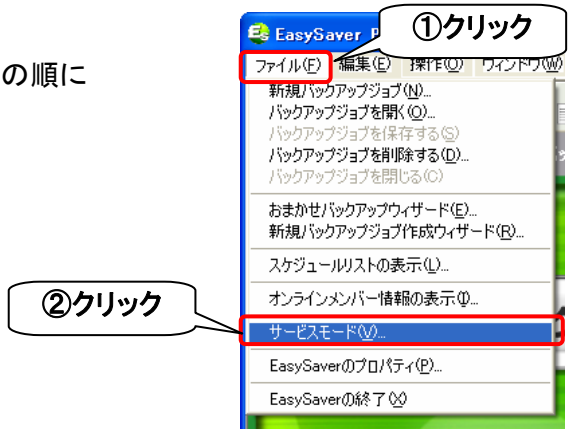
1 設定をおこなうクライアントPC以外のパソコンのEasySaver Pro 2005を全て終了させてください。



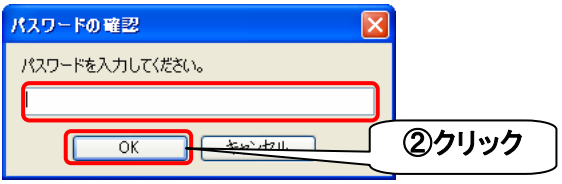
2 設定をおこなうクライアントPCでEasySaver Pro 2005を起動します。（[スタート]→[（すべての）プログラム]→[I-O DATA]→[EasySaver Pro 2005]→[EasySaver Pro 2005]を順にクリックし、起動します。）



3 [ファイル]メニュー
→[サービスモード]の順に
クリックします。



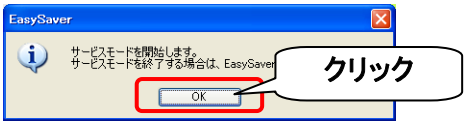
4 15ページ[マスターパスワードの設定をする]で設定したマスターパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



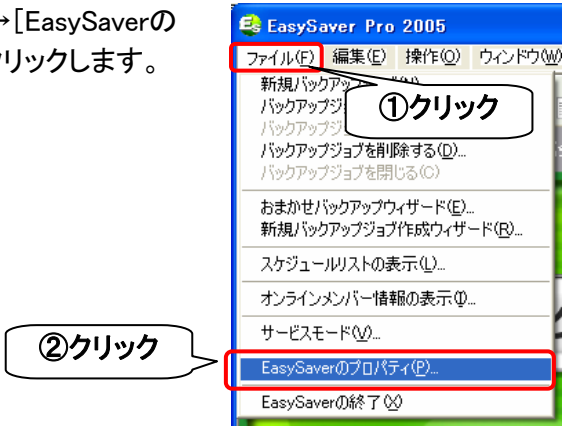
ご注意

パスワードは「****」と表示され確認できません。**
大文字・小文字の区別もありますので、間違えないようご注意ください。

5 [OK]ボタンをクリックします。



6 [ファイル]メニュー→[EasySaverのプロパティ]の順にクリックします。



7 [ネットワーク]タブをクリックします。
共通動作オプションを設定し、[OK]ボタンをクリックします。

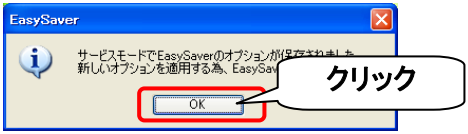


<table>
<tr><td>設定ファイルの参照先</td><td colspan="2">共通設定ファイルの場所を指定します。
※設定ファイルの参照先を変更するとサービスモードが利用できなくなります。その場合は、マスターパスワードの設定ユーティリティにてマスターパスワードの再設定が必要となります。
よって通常、変更する必要はありません。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">バックアップデータ転送制限モード</td><td colspan="2">ネットワークドライブへのバックアップ時にデータの転送速度を制限する事により、ネットワークへの負荷を軽減します。
※ネットワークドライブをバックアップ先とするバックアップのみ対象となり、ローカルドライブへのバックアップは、常に最高速で実行されます。</td></tr>
<tr><td>制限無し（最高速）</td><td>転送速度は制限されません。</td></tr>
<tr><td>低速</td><td>最高速の約 66%程度の速度。
※データ転送の状況によっては更に遅くなる場合があります。</td></tr>
<tr><td>最低速</td><td>最高速の約 33%程度の速度。
※データ転送の状況によっては更に遅くなる場合があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ネットワーク上での同時バックアップ数制限</td><td colspan="2">ネットワーク上で同時に実行可能なバックアップジョブの数を任意の数に制限する事により、ネットワークへの負荷を軽減します。
※ネットワークドライブをバックアップ先とするバックアップのみ対象となり、ローカルドライブへのバックアップは、バックアップ数に含まれません。</td></tr>
<tr><td>同時に実行可能なバックアップ数</td><td>「1～30」の範囲で設定します。</td></tr>
<tr><td>実行可能になるまで待機する</td><td>本機能により、バックアップの開始が抑制された場合で、一定時間後、再度バックアップを実行する場合にチェックします。チェック後、下記の「タイムアウト時間」を設定します。</td></tr>
<tr><td>タイムアウト時間</td><td>本機能により、バックアップの開始が抑制されてから、再度バックアップを実行するまでの時間を設定します。上記「実行可能になるまで待機する」にチェックをつけた場合のみ有効です。
「1～480」（分）の範囲で設定します。
※上記「実行可能になるまで待機する」のチェックが外れている場合は、「待機しない」モードとなり、再実行しません。</td></tr>
<tr><td>バックアップ先ドライブ</td><td colspan="2">バックアップ先ドライブを任意のドライブ文字（番号）に固定する機能です。各クライアント PC で指定可能なバックアップ先ドライブ文字（番号）を統一する事で、管理をし易くします。
「C～Z」、または「指定しない」の範囲で設定します。</td></tr>
</table>

参考

「EasySaver のプロパティ」の[ネットワーク]タブ以外の設定は、ユーザーでもおこなえます。その他「EasySaver のプロパティ」の設定の詳細については、添付の冊子「EasySaver Pro 2005 取扱説明書【操作編】」49 ページ【EasySaver のプロパティについて】をご覧ください。

8 [OK]ボタンをクリックし、EasySaver Pro 2005を一旦終了します。



以上で、サービスモードは終了です。

ふろく

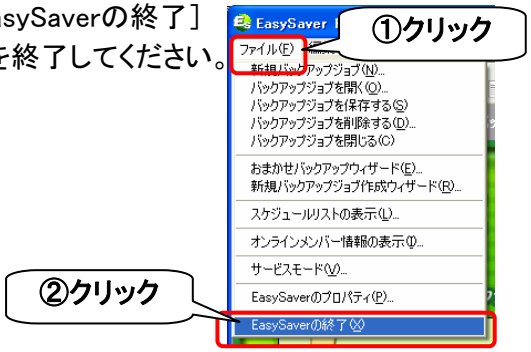
EasySaver Pro 2005 の削除……24
お問い合わせ……25

EasySaver Pro 2005 の削除

インストールした EasySaver Pro 2005 の削除方法について説明します。

※Windows Vista™/XP/2000 ではコンピュータの管理者のアカウント(Administrator)権限でログオンしてください。

1 スケジュールバックアップ機能を有効にしている際は、
[ファイル]メニュー→[EasySaverの終了]
でEasySaver Pro 2005を終了してください。



2 [スタート]→([設定]→)[コントロールパネル]の順にクリックします。

3
・Windows Vista™の場合
[プログラムのアンインストールまたは変更]をクリックします。
・Windows XPの場合
[プログラムの追加と削除]をクリックします。
・Windows 2000/Me/98の場合
[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

4
・Windows Vista™の場合
[EasySaver Pro 2005]をクリックし、[アンインストール]をクリックします。
※ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は[続行]をクリックします。
・Windows XP/2000の場合
[EasySaver Pro 2005]をクリックし、[変更と削除](または[変更/削除])ボタンをクリックします。
・Windows Me/98の場合
[EasySaver Pro 2005]をダブルクリックします。

5 [OK]ボタンをクリックします。

6 [完了]ボタンをクリックします。

以上で、インストールした EasySaver Pro 2005 の削除は完了です。

お問い合わせ

本ソフトウェアに関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポート Web ページもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例などが紹介されていますのでご参考ください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
News など

本ソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新ソフト

② それでも解決できない場合は…

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター

電話： 本社…**076-260-3688** 東京…**03-3254-1095**
※受付時間 9:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**

インターネット： http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSと本ソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

MEMO

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft, Windows, Windows Vista™は、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

EasySaver Pro 2005取扱説明書【インストール編】　2007.06.08
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

Copyright © 2005-2007 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.
本ソフトウェア及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。